

わが家のアイドル

応募方法

1～1歳半程度のお子さんの写真を同封し、住所・保護者のお名前・電話番号・お子さんのお名前(ふりがな)・性別・生年月日を明記のうえ、郵送またはメールで秘書広報課(☐hisyo@city.chichibu.lg.jp)まで



山口 翔くん・歩くん
「牛乳おいし〜♡」
(寺尾)



宮原 葵ちゃん
「お外で遊ぶのが大好き！
毎日どろんこ〜!」
(伊古田)



井上 昂くん
「立派なお兄ちゃんに
なるぞ!」
(野坂町)



坂上 琴音ちゃん
「おにいちゃん
だーいすき♡」
(大野原)

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

地域との連携を大切に体験活動に取り組んでいます。
(皆野高校)



皆野高校は、今年度も地域の小学校・幼稚園と連携をしながら、さまざまな体験活動を実施しています。

6月4日(木)の体育祭では、皆野町立国神小学校の児童を招き、交流競技を実施しました。初めての試みでしたが、高校生と小学生とが大いに競技を楽しみました。大縄跳びの競技では、小学5年生のチームが3分間に144回跳んで高校生チームを大きく上回り、優勝しました。高校生と小学生がペアを組み、ラケットを使って風船を運ぶ競技では、高校生が小学生にやさしく声をかけ、息を合わせながら競技を楽しみました。前野希望さん(3年・生徒会長)は、「体育祭が盛り上がり、良い経験ができた。」と話していました。



6月8日から12日には皆野幼稚園で3年生が保育実習を実施して、小さな子どもとの関わり方を学びました。

市民文芸

短歌

命とは神様からの借りたもの返す時まで懸命に生きん
東京の花見客より駅までの道を聞かれて一緒に歩く
四男の姓が変わるの報告に嬉しさあるもまどいもあり
娘の誘う一夜の旅へ婆二人箸とフォークを取りバイキング
生け垣のオオムラサキは咲き揃い道行く人の驚きの声
わが歌は拙きものと思えども市報待つ間の緊張の日々
中津川山林火災鎮めんとへりはいくたびも湖の水波む
お母さん風邪大丈夫父さんはと傘寿の親を気遣う電話
朝ごとに雉の啼く声聞きながら孫の出勤無事を祈りて
手作りのベンチ抱える生徒らの笑顔頼もし市報表紙に

〔評〕 竹村さん、生かされている感謝の気持ちがじかに伝わってきます。加藤さん、おもてなしの実行力に拍手を送ります。新井さん、複雑な心境が的確に詠われています。設楽さん、笑い声が聞こえてきます。久保さん、豪華な垣根、素晴らしいですね。堀さん、いやいや、決して。歌の材料は数多くあるので、遠慮せずに投稿です。高野さん、水の不便な山域での消火活動に感動しているのです。大島さん、お子さんの心遣いが素敵です。千島さん、素敵な環境の中での心遣いが伝わってきます。新井さん、秩父農工科学高校の生徒さん製作の素敵なベンチ、頭が下がります。

※次回8月号は俳句を掲載します

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記のうえ、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 7月末締切→9月号に掲載

俳句 8月末締切→10月号に掲載

綾部 光芳 選

栃谷 竹村善三郎
日野田町 加藤しげ子
大野原 新井 澄子
小柱 設楽 キマ
中村町 久保 克彦
下影森 堀 サト子
相生町 高野セツ子
山田 大島 映子
荒川賢川 千島 金代
上野町 新井要次郎